

みぶりんだより

2017 年 3 月号 Vol.31

壬生町町民活動支援センター「みぶりん」

■開館時間

火～金 10時～18時

土・日・祝 10時～17時

(火～金は予約をして頂ければ 21 時まで利用可能です)

■休館日

月曜日・年末・年始

〒321-0214 壬生町大字壬生甲 3843-1 (保健福祉センター内)

電話 0282-21-8731 FAX 0282-21-8732

Mail: miburin@bz04.plala.or.jp

<http://www.town-mibu.com/miburin/>

★メールアドレスを教えて頂ければ、毎月

みぶりんだより (カラー版 PDF) をメールでお送りします。

HP URL

QRコード

HP のアドレスが
変わりました

第6回「みぶりん活動発表会」を開催しました！

「みぶりん活動発表会」を2月26日、町保健福祉センターで開催しました。今回で6回目となる活動発表会には80名以上の参加者のもと、各団体等から活動状況や成果等が報告され、皆さん熱心に聞き入っていました。

最初に「みぶアクティブクラブ」による発表では、防災ボランティアに関する体験談が説明され、避難所における様々な取組が発表されました。2組目の「壬生町相談支援連絡会」では、四か所での障害児者やその家族を支援している状況等が説明され、「障害児者への関わり方を知ってもらいたい。」等の発表でした。3組目の「安塚駅前広場『花愛好会』」の発表では、定期的に行っている花壇の植栽や清掃活動が地元の人や鉄道利用者にも大変好評との説明があり、会員の方のインタビュー映像でも「皆さんが喜んでくださるので、これからも続けて行きたい。」と話されていました。最後の「愛祥会」の発表は、活動状況等の説明のあと実際に「新舞踊・民舞」がお披露目され、参加者から盛大な拍手がありました。

参加者からは、「町民の社会貢献活動が活発に行われていることを知り、次回は知人等を連れて参加します。」「分野の違うボランティアグループの活発な活動ぶりに刺激されました。」等のご意見、感想がありました。また、「このような点を工夫すれば、もっと良かった。」等の貴重なご意見もいただき、今後の「みぶりん活動発表会」に反映させて参ります。

この活動発表会は、日頃交流が少ない団体等の活動状況や活動成果を聞くことで、今後の活動の参考となるとともに、各種団体間の交流が図れるものと期待しています。(条川)



みぶアクティブクラブ



壬生町相談支援連絡会



質疑応答



安塚駅前広場「花愛好会」



愛祥会



交流会の様子

壬生北小にて 5・6 年生にキャリア教育出前授業

2 月 9 日、壬生北小学校 5・6 年生が、総合的な学習の時間に「キャリア教育」の出前授業を行いました。みぶりんからの紹介で、美容師の高橋様、看護師の山口様が講話をしてくださいました。

はじめに美容師の高橋様の授業でした。美容師はどんな仕事をしているか、美容師と理容師の違い、どうしたら美容師になれるか、そのために今からできることはどんな事か、東日本大震災の際ボランティアで東北へカットに行ったこと等のお話をされました。

次に、看護師の山口様の授業でした。看護師の一日のお話や、なりたい職業に就くためにはどうしたらよいか、どの仕事でも一人の力では出来ない、みんなの個性を認め、嬉しいこと、悲しいこと、幸せなこと、つらいことを経験し、大人になってください、と仰られていました。

講話の後、それぞれ質疑応答の時間に「お仕事で楽しい時はどんな時ですか」「大変な時はどんな時ですか」等質問もあり、児童たちは講師お二人の話に真剣に耳を傾け、皆それぞれの心に届いたことと思います。

たいへんありがとうございました。

(取材担当 小田垣)



美容師 高橋様



看護師 山口様

第 5 回ふれあい健康福祉のつどい 睦コミュニティ推進協議会

2 月 12 日、睦地区コミュニティセンターで、睦地区コミュニティ推進協議会主催による「第 5 回ふれあい健康福祉のつどい」が行われました。

第 1 部では、獨協医科大学 大曾根 彰 准教授による健康講話『認知症は予防できるか?』が行われましたが、興味あるテーマに全員の目は真剣そのものでした。

第 2 部では、壬生民話ふくべの会による『民話の語り』と、糸川久善様による「南京玉すだれ」や「バナナの叩き売り」などの『大道芸』が行われました。こちらは軽妙な話術と珍しい芸に、会場は笑いと思嘆の渦に包まれました。

(取材担当 鈴木)



東下台イキイキサロン

東下台公民館

2月16日、東下台イキイキサロンで、「絵手紙」と「ギターアンサンブル」が行われました。絵手紙は「かたくりの会」の方の指導のもと、野菜などを題材に描きましたが、皆さん初めてとは思えないほど趣のある絵を描いていて、もらったら嬉しいだろうなと思わせる絵手紙ばかりでした。

ギターアンサンブルはシルバー大学校卒業生の方8人による懐メロの演奏で、歌詞カードを見ながら演奏に合わせて全員で歌い、曲ごとに歌手や時代背景などの説明もあり、まるで歌謡ショーのような感じで、楽しく懐かしい歌声が部屋中に響きました。(取材担当 鈴木)



絵手紙



ギターアンサンブル

「川は友達」講演会 川の日を国民の祝日にしよう会

2月19日、町保健福祉センターにて、壬生町後援で「川は友達」講演会を開催いたしました。講師は、余笹川流域連携ネットワーク会長(NPO 法人 栃木県防災士会理事長)の稲葉 茂様、演題は「那須水害と余笹川ボランティア活動について」でご講演いただきました。河川愛護の実績を積み重ねている稲葉会長のお話は、川の大切さや有難さを再認識する素晴らしい内容でした。

「川の日」は平成8年に国土交通省が7月7日と制定し、数多くのイベントを開催し活動をしておりますが、国民の祝日でないため知名度に欠け、国民の幅広い層へ広がりを見せておりません。

そこで、私達の会は「国民の祝日法」に新たに「川の日」を加え、国民こぞって「川の恩恵に感謝し川の大切さを考え直す」記念日・祝日とする運動をするため、昨年1月に発足いたしました。

壬生町議会への陳情書提出から県内全ての議会へと活動を拡大し、これまでに、壬生町議会を始め殆どの県内の市・町議会で陳情書を「採択」して頂き、内閣総理大臣並びに国の関係行政庁や栃木県知事へ「意見書」が提出されております。こうした一つ一つの動きが、私達の会の存在を知る輪の広がりにつながり、私達にとって、新しい一步を踏み出す自信と勇気となり、大きな励みとなって来ています。

しかしながら、私達の会の運動は、住民活動です。壬生町民・栃木県民の盛り上がり無くして、ここ栃木県から全国へ力強く発信は出来ません。

今年は、県民へ賛同の輪を広げる住民活動へと前進して参ります。ふる里の川に囲まれながら、今を生きていられる幸せを10年後20年後の子供達へ伝える活動をしている私達の会に、ご賛同頂きますようお願い致します。(会長 桑原史朗 記)



活動報告

オオムラサキの幼虫を探そう探検隊

獨協の森 2/22
わんぱく公園 2/25

2 月 22 日、オオムラサキの里を作る会（大島菊夫会長）が、「獨協の森」において、ステラ獨協前保育園及びメリーランド保育園の園児計約 80 人が参加し「オオムラサキの幼虫を探そう探検隊」として、自然を体感する観察会を開催しました。園児たちは獨協大学 学長の稲葉先生と一緒に探し、「一番にみつけたよ！」「いっぱい見つけた～！」「怖かったけど面白い！」「昆虫の名人になりたいな！」等、楽しみながら幼虫 120 匹を探し当てました。

また 2 月 25 日、わんぱく公園の「ばなばな工房」にて、小学生親子を対象に「オオムラサキの幼虫を探そう探検隊」が同様に開催されました。

(取材担当 小田垣)



お知らせ

お散歩がてら、故郷の春の自然を訪ねてみませんか？

野の花とスミレを探す会

どなたでもご自由に参加ください

日時▶ 4 月 8 日 (土) 午前 9:00～12:00

(午前 8 時 50 分集合 9 時出発)

※雨天の場合は、4 月 9 日 (日) 同時刻に順延。

集合場所▶ 壬生町保健福祉センター 駐車場

参加費無料▶ 飲物などは各自ご持参ください。

申込は不要です。当日、壬生町保健福祉センター駐車場へお集まりください。

壬生町保健福祉センターから 4～5 km の雑木林、農道、集落を散策し一周して戻る 3 時間位の行程です。(普通歩けば 1 時間から 1 時間半位のコース)

★コスミレ、エイザンスミレ、アリアケスミレ、タチツボスミレ、ケマルバスミレ等のスミレ類

★オオイヌノフグリ、ハナイバナ、ペンペン草、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、ミツバツチグリ、カキドオシ、ヤブラビラコ、タネツケバナ、キュウリグサ、ミミナグサ、ノゲシ、ニガナ、セイヨウタンポポ等の野の花

★コナラ、クヌギ、クリ、エゴノキ、ガマズミ、リョウブ等雑木の芽や若葉

※ 5 月も開催予定です。

問合先▶ 山崎 治行 080-3083-6057

活動支援▶ 壬生町町民活動支援センターみぶりん ☎ 0282-21-8731

壬生の語り手たちが語る

第3回 民話の世界へようこそ

日時▶ 4 月 22 日 (土) 午後 1:30～3:30

会場▶ 壬生町南犬飼地区公民館 (東武線安塚駅徒歩 10 分)

入場無料▶ どなたでも自由に入場できます。

○各地の民話語り

○昔ながらの手遊び

○わらべうた

○壬生町の伝説紹介

民話の世界は、無限です。

語り手と聞き手によって織り成される心の交流の世界です。九人の個性豊かな語り手たちが誘う世界は、どんな世界でしょうか。不思議、郷愁、笑い、奇想天外、生命の力、愛…お一人お一人の心にお届けします。

主催・連絡先▶

壬生民話ふくべの会

楽しい民話の会

飯村英子

☎ 0282-82-7959

後援▶

壬生町教育委員会

壬生町社会福祉協議会



学校教育支援ボランティアとして
栃木県教育委員会から感謝状を頂きました

☆みぶりんだよりは下記のところに置いています☆

みぶりん・壬生町役場・各出張所・各コミュニティセンター・各公民館・生涯学習館・図書館・体育館・みらい館・おもちゃ博物館・各小中学校・壬生高校

【編集後記】■先日、友人手作りの和箒を購入したら使い心地が最高、材料は壬生町産とのこと。(条川) ■活動発表会にはたくさんの方にお越しいただき、ありがとうございました。日頃お世話になっている大勢の方に挨拶ができ、本当に嬉しかったです。(鈴木) ■みぶりん活動発表会の準備を頑張り、素晴らしい発表会になりました。みぶりんではたくさんの方々とも出会えました。これからもよろしく願いいたします。(小田垣) ■大きな会で司会をするのは初めてだったのでとても緊張しました。無事、活動発表会を終える事が出来良かったです。(坂本)